

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2017年8月10日から2021年7月7日（当初、無期限）までです。	
運用方針	安定的なインカム収益の獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジあり）	明治安田オーストラリア公社債マザーファンドおよび明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドを主要投資対象とします。
	明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とします。
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジあり）	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には制限を設けません。
	明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎年6月7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

# オーストラリア好利回り バランス・ファンド （為替ヘッジあり） 愛称：レッツ豪（為替ヘッジあり）

## 償還運用報告書（全体版）

〈繰上償還〉

第5期（信託終了日 2021年 7月 7日）

受益者のみなさまへ

平素は「オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジあり）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2021年7月7日に繰上償還いたしました。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787  
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

◎設定以来の運用実績

決算期	(分配額)	基準価額		株式組入比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込み分配金	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
(設定日) 2017年 8月10日	10,000	—	—	—	—	—	2,000
(第1期) 2018年 6月 7日	10,026	0	0.3	13.0	67.2	16.0	2,007
(第2期) 2019年 6月 7日	10,549	0	5.2	13.8	67.0	15.3	2,111
(第3期) 2020年 6月 8日	10,534	0	△0.1	20.1	71.0	17.3	2,114
(第4期) 2021年 6月 7日	11,403	0	8.2	16.1	65.2	14.2	572
(償還時)	(償還価額)						
(第5期) 2021年 7月 7日	11,465.05	—	0.5	—	—	—	575

(注1) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは親投資信託を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

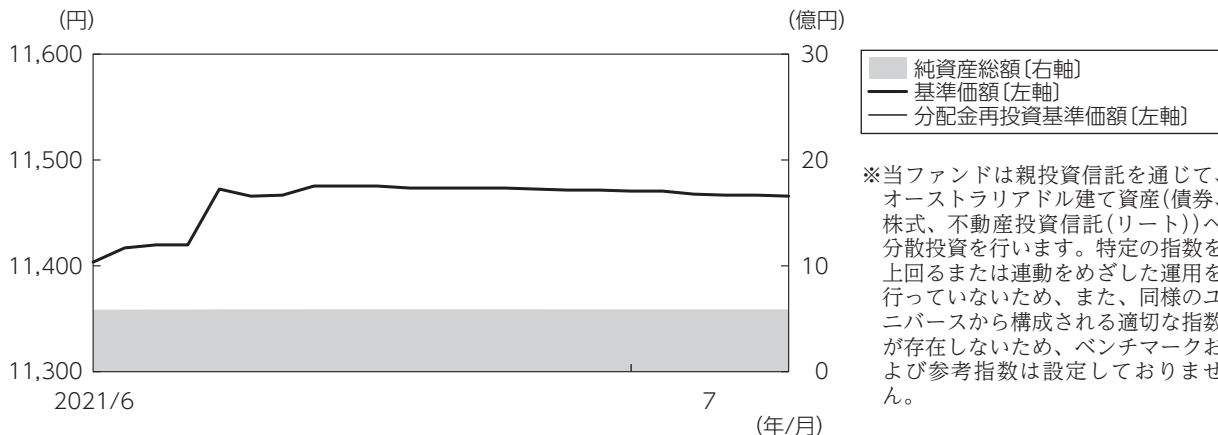
年月日	基準価額		株式組入比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率			
	円	%	%	%	%
(期首) 2021年 6月 7日	11,403	—	16.1	65.2	14.2
6月末	11,470	0.6	—	—	—
(償還時) 2021年 7月 7日	(償還価額) 11,465.05	0.5	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

◎当期の運用経過

■基準価額等の推移



※当ファンドは親投資信託を通じて、オーストラリアドル建て資産(債券、株式、不動産投資信託(リート))へ分散投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

第5期首(2021年6月7日)：11,403円  
 償還時(2021年7月7日)：11,465円05銭(既払分配金－円)  
 騰落率：0.5%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、リート）へ分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

実質的に組み入れている債券およびリートの価格上昇に加えて、インカム収入がプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。なお、株式の価格変動の影響はほとんどみられませんでした。

【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	0.3%
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	0.7%

**■投資環境****豪州株式・リート**

当期の豪州株式相場は上昇しました。企業景況感の改善に加え、中央銀行が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したことが支援材料となりました。一方、米国における早期の利上げ観測が波及したほか、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に対する懸念から上値が重くなりました。

当期の豪州リート相場は小幅に上昇しました。長期金利が低下したことが支援材料となりましたが、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に対する懸念から上値が抑えられました。

**豪州債券**

当期の豪州債券市場で長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。中央銀行が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したことに加え、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に対する懸念が広がったことから低下しました。

**外国為替**

当期のオーストラリアドルは円に対して下落しました。米国における早期の利上げ観測が同国をはじめとする資源国通貨の下落要因となったほか、同国における新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に対する懸念もあり、下落しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

### オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジあり）

期首の運用方針に基づき、明治安田オーストラリア公社債マザーファンドおよび明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行いました。資産配分比率は、オーストラリアドル建て債券、豪州株式、豪州リートの各資産へそれぞれ純資産総額の70：15：15を基本とし、乖離幅を一定範囲内に抑えた運用を行いました。また、円を対貨とする為替ヘッジを行いました。

### 明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

期首の運用方針に基づき、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式およびリートに投資しました。豪州株式および豪州リートへの投資比率を概ね50：50としました。銘柄選択の視点として配当利回りを重視し、マザーファンド全体での平均配当利回りをオーストラリア市場の平均よりも高めに維持しました。

なお、償還を控え、2021年6月中旬に組入銘柄をすべて売却しました。

### 明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

期首の運用方針に基づき、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Baa3以上（およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む）の格付けを付与された公社債に投資しました。マクロ経済・債券市況・需給動向等の分析を踏まえ、金利動向およびクレジット市場の方向性を予測、ポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、運用戦略を決定・実行しました。

なお、償還を控え、2021年6月中旬に組入銘柄をすべて売却しました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは親投資信託を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎設定以来の運用経過（2017年8月10日～2021年7月7日）

## 基準価額と収益分配金



※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額は設定時10,000円で始まり償還日11,465円05銭で終わりました。騰落率は+14.7%でした。設定以来お支払した分配金はございませんでした。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

## 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、リート）へ分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

### （上昇要因）

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・2020年4月から償還日にかけては、主要国において政府による積極的な財政政策や中央銀行による大規模な金融緩和政策に加え、経済活動再開の動きもあり、株式およびリート相場が堅調に推移したこと

### （下落要因）

- ・2020年3月には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から、株式およびリート相場が急落したこと

## 運用概況

### オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジあり）

運用方針に基づき、明治安田オーストラリア公社債マザーファンドおよび明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行いました。資産配分比率は、オーストラリアドル建て債券、豪州株式、豪州リートの各資産へそれぞれ純資産総額の70：15：15を基本とし、乖離幅を一定範囲内に抑えた運用を行いました。また、円を対貨とする為替ヘッジを行いました。

### 明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

後述の同マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

### 明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

後述の同マザーファンドの運用報告書をご参照ください。



## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2021年6月8日～2021年7月7日)		
	金額	比率	
(a)信託報酬	9 円	0.081 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,470円です。
(投信会社)	(4)	(0.033)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(5)	(0.045)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.003)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.002	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c)その他費用	1	0.010	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	10	0.093	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

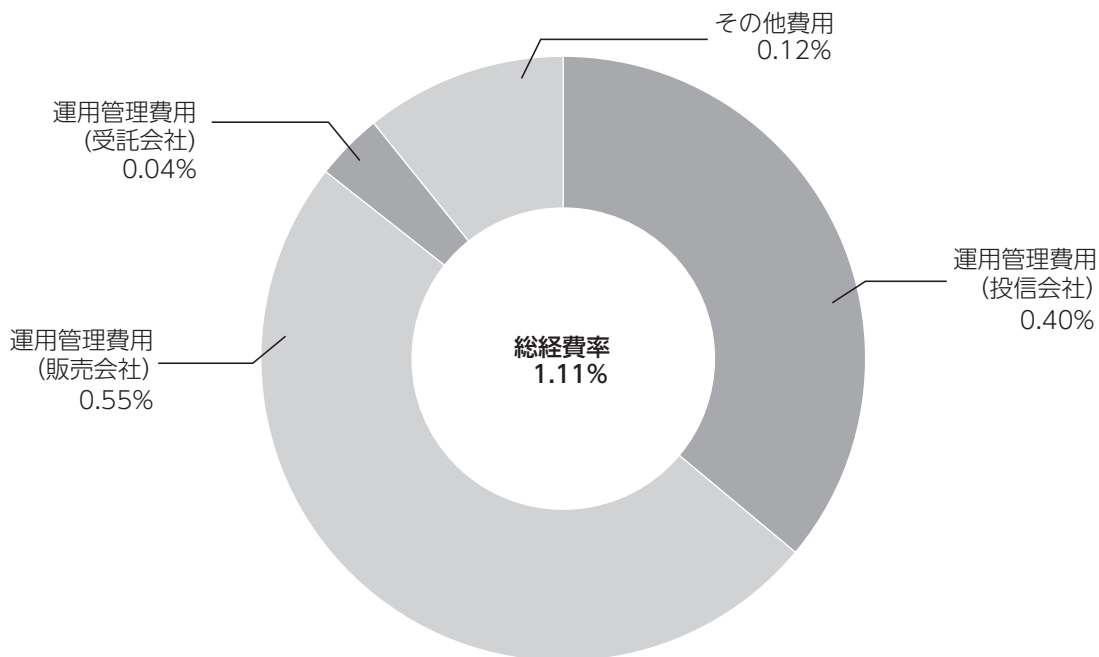
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報） 総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎**売買及び取引の状況**（2021年6月8日～2021年7月7日）

○親投資信託の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	—	—	337,260	391,992
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	—	—	136,219	177,039

(注)単位未満は切り捨て。

◎**親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	281,673千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎**利害関係人との取引状況等**（2021年6月8日～2021年7月7日）

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎**組入資産明細表**

2021年7月7日現在、有価証券等の組み入れはございません。

○親投資信託残高

種 類	期 首	償 還 時	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	337,260	—	—
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	136,219	—	—

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

2021年7月7日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	575,988	100.0
投資信託財産総額	575,988	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び償還価額の状況

2021年7月7日現在

項 目	償 還 時
(A)資 産	575,988,518円
コール・ローン等	575,988,518
(B)負 債	473,159
未払信託報酬	468,219
その他未払費用	4,940
(C)純資産総額(A - B)	575,515,359
元 本	501,973,571
償 還 差 益 金	73,541,788
(D)受 益 権 総 口 数	501,973,571口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,465円05銭

## ◎損益の状況

自 2021年 6月 8日  
至 2021年 7月 7日

項 目	当 期
(A)有価証券売買損益	3,568,707円
売 買 益	6,761,880
売 買 損	△ 3,193,173
(B)信託報酬等	△ 472,958
(C)当期損益金(A + B)	3,095,749
(D)前期繰越損益金	69,381,691
(E)追加信託差損益金	1,064,348
( 配 当 等 相 当 額 )	( 933,821)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 130,527)
償還差益金(C + D + E)	73,541,788

(注1) 当ファンドの期首元本額は501,956,856円、期中追加設定元本額は48,381円、期中一部解約元本額は31,666円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,146505円です。

(注3) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注4) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◎投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年 8月10日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年 7月 7日		資産総額	575,988,518円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	473,159円
				純資産総額	575,515,359円
受益権口数	2,000,000,000口	501,973,571口	△1,498,026,429口	受益権口数	501,973,571口
元本額	2,000,000,000円	501,973,571円	△1,498,026,429円	1万口当たり償還金	11,465.05円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	2,002,044,129	2,007,233,947	10,026	0	0.0000
第2期	2,001,311,401	2,111,122,649	10,549	0	0.0000
第3期	2,007,435,704	2,114,697,782	10,534	0	0.0000
第4期	501,956,856	572,400,416	11,403	0	0.0000

◎償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	11,465円05銭
----------------	------------

※償還金は、償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

# 明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

## 償還運用報告書

### 第5期〈繰上償還〉

(信託終了日 2021年7月6日)

「明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド」は、2021年7月6日に繰上償還いたしました。

以下、償還までの運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		株式組入比率	投資信託証券 組 入 比 率	純資産総額
		円	%			
(設定日) 2017年 8月10日	10,000	—	%	—	—	1,485
(第1期) 2018年 6月 7日	10,209	2.1	%	42.4	52.1	1,528
(第2期) 2019年 6月 7日	9,894	△ 3.1	%	46.3	51.3	1,517
(第3期) 2020年 6月 8日	8,872	△10.3	%	53.3	46.1	1,844
(第4期) 2021年 6月 7日	12,964	46.1	%	52.3	46.2	549
(償還時)	(償還価額)					
(第5期) 2021年 7月 6日	12,996.65	0.3	%	—	—	548

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドはオーストラリアドル建て資産（株式、不動産投資信託（リート））に投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株式組入比率	投資信託証券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2021年 6月 7日	12,964	—	52.3	46.2
6月末	13,006	0.3	—	—
(償還時) 2021年 7月 6日	(償還価額) 12,996.65	0.3	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

◎設定以来の運用経過(2017年8月10日～2021年7月6日)

## 1 基準価額

### 基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は設定時10,000円で始まり償還日12,996円65銭で終わりました。騰落率は+30.0%でした。基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・2020年4月から償還日にかけては、主要国において政府による積極的な財政政策や中央銀行による大規模な金融緩和政策に加え、経済活動再開の動きもあり、株式およびリート相場が堅調に推移したほか、円安オーストラリアドル高基調が続いたこと

#### (下落要因)

- ・2020年3月には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から、株式およびリート相場が急落したほか、円高オーストラリアドル安が急速に進んだこと

## 2 運用経過

### 運用概況

運用方針に基づき、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式およびリートに投資しました。豪州株式および豪州リートへの投資比率を概ね50：50としました。銘柄選択の視点として配当利回りを重視し、マザーファンド全体での平均配当利回りをオーストラリア市場の平均よりも高めに維持しました。

なお、償還を控え、2021年6月中旬に組入銘柄をすべて売却しました。



## ◎1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項目の概要
	(2021年6月8日~2021年7月6日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	1 円	0.008 %	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※期中の平均基準価額は13,006円です。
(株式)	( 1)	(0.004)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.004)	
(b) その他費用	11	0.086	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
(保管費用)	(10)	(0.079)	
(その他)	( 1)	(0.007)	
合 計	12	0.094	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2021年6月8日～2021年7月6日)

## (1) 株式

外 国	オーストラリア	買 付		売 付	
		株 数 百株	金 額 千オーストラリアドル	株 数 百株	金 額 千オーストラリアドル
		—	—	8,587	3,388

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切り捨て。

## (2) 投資信託証券

外 国	オーストラリア	買 付		売 付	
		口 数	金 額 千オーストラリアドル	口 数	金 額 千オーストラリアドル
	CROMWELL PROPERTY GROUP	—	—	270,608	245
	CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	68,227	264
	STOCKLAND	—	—	89,917	433
	SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	—	—	28,251	62
	GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	—	—	61,607	245
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	—	—	50,328	186
	HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	—	—	67,386	220
	GDI PROPERTY GROUP	—	—	125,045	141
	APN INDUSTRIA REIT	—	—	87,128	279
	RURAL FUNDS GROUP	—	—	86,759	216
	CENTURIA OFFICE REIT	—	—	58,838	139
	WAYPOINT REIT LTD	—	—	61,994	164
	AVENTUS GROUP	—	—	133,710	411
	合計口数・金額	—	—	1,189,798	3,014

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切り捨て。

## ◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	281,673千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ◎利害関係人との取引状況等(2021年6月8日～2021年7月6日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

2021年7月6日現在、有価証券等の組み入れはございません。

 ○外国株式  
 上場、登録株式

銘 柄	期 首
	株 数
(オーストラリア)	百株
AUSTRALIAN PHARMA INDUS LTD	181
AUST AND NZ BANKING GROUP	91
WESTPAC BANKING CORP	106
FORTESCUE METALS GROUP LTD	112
TELSTRA CORP LTD	716
BHP GROUP LTD	13
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	544
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	42
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	10
CSR LTD	546
APA GROUP	21
SELECT HARVESTS LTD	105
GWA GROUP LTD	44
SUNCORP GROUP LTD	9
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	124
IOOF HOLDINGS LTD	51
TABCORP HOLDINGS LTD	76
WESFARMERS LTD	12
ALUMINA LTD	252
MOUNT GIBSON IRON LTD	98
MCMILLAN SHAKESPEARE LTD	10
SUPER RETAIL GROUP LTD	14
MORTGAGE CHOICE LTD	458
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	276
MACQUARIE GROUP LTD	6
NIB HOLDINGS LTD	23
MYSTATE LTD	113
AURIZON HOLDINGS LTD	53
VIRTUS HEALTH LTD	16
ACCENT GROUP LTD	57
HT&E LTD	49
JUPITER MINES LTD	2,912
NAVIGATOR GLOBAL INVESTMENTS	364
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	352
JUNO MINERALS LTD	178
SMARTGROUP CORP LTD	9

銘 柄	期 首
	株 数
AUSNET SERVICES	495 百株
AGL ENERGY LTD	35
合 計	8,587
株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	38

(注)株数の単位未満は切り捨て。

○外国投資信託証券

銘 柄	期 首
	口 数
(オーストラリア)	口
CROMWELL PROPERTY GROUP	270,608
CHARTER HALL RETAIL REIT	68,227
STOCKLAND	89,917
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	28,251
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	61,607
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	50,328
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	67,386
GDI PROPERTY GROUP	125,045
APN INDUSTRIA REIT	87,128
RURAL FUNDS GROUP	86,759
CENTURIA OFFICE REIT	58,838
WAYPOINT REIT LTD	61,994
AVENTUS GROUP	133,710
合 計	1,189,798
口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	13

(注)単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2021年7月6日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	548,970	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	548,970	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び償還価額の状況

2021年7月6日現在

項 目	償 還 時
(A)資 産	548,970,552円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	548,970,552
(B)負 債	33,208
そ の 他 未 払 費 用	33,208
(C)純 資 産 総 額 ( A - B )	548,937,344
元 本	422,368,261
償 還 差 益 金	126,569,083
(D)受 益 権 総 口 数	422,368,261口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 ( C / D )	12,996円65銭

◎損益の状況

自 2021年 6 月 8 日  
至 2021年 7 月 6 日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	265,941円
受 取 配 当 金	265,941
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	1,580,414
売 買 益	5,254,036
売 買 損	△ 3,673,622
(C)信 託 報 酬 等	△ 473,494
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	1,372,861
(E)前 期 繰 越 損 益 金	125,542,908
(F)解 約 差 損 益 金	△ 346,686
償 還 差 益 金 ( D + E + F )	126,569,083

(注1)当親ファンドの期首元本額は423,521,575円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は1,153,314円です。

(注2)当親ファンドの当期末元本の内訳は、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)149,893,822円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(毎月決算型)136,255,438円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジあり)136,219,001円です。

(注3)1口当たり純資産額は1,299,665円です。

(注4)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6)損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# 明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

## 償還運用報告書

### 第5期〈繰上償還〉

(信託終了日 2021年7月6日)

「明治安田オーストラリア公社債マザーファンド」は、2021年7月6日に繰上償還いたしました。  
以下、償還までの運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	中長期的な信託財産の成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

## ◎設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSEオーストラリア BIG債券インデックス (ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		債券 組入 率	純資産 総額
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(設定日) 2017年 8月10日	10,000	—	386.27	—	—	百万円 3,465
(第1期) 2018年 6月 7日	9,946	△ 0.5	378.77	△ 1.9	96.2	3,474
(第2期) 2019年 6月 7日	9,780	△ 1.7	373.02	△ 1.5	97.6	3,498
(第3期) 2020年 6月 8日	10,341	5.7	394.79	5.8	98.8	3,529
(第4期) 2021年 6月 7日	11,544	11.6	435.12	10.2	95.9	1,211
(償還時)	(償還価額)					
(第5期) 2021年 7月 6日	11,622.85	0.7	434.03	△ 0.3	—	1,215

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドはオーストラリアドル建て債券に投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークは設定しておりません。

(注4) FTSEオーストラリアBIG債券インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、オーストラリアの国債、政府・政府系機関債、担保付証券、社債などの総合収益率を市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注5) FTSEオーストラリアBIG債券インデックス（ヘッジなし・円ベース）は基準価額との関連を考慮して前営業日の値を用いています。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSEオーストラリア BIG債券インデックス (ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		債券組入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2021年 6月 7日	11,544	—	435.12	—	95.9
6月末	11,623	0.7	429.32	△1.3	—
(償還時) 2021年 7月 6日	(償還価額) 11,622.85	0.7	434.03	△0.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

◎設定以来の運用経過(2017年8月10日～2021年7月6日)

## 1 基準価額

### 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数はFTSEオーストラリアBIG債券インデックス(ヘッジなし、円ベース)であり、設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は設定時10,000円で始まり償還日11,622円85銭で終わりました。騰落率は+16.2%でした。基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・2020年4月から償還日にかけては、主要国において政府による積極的な財政政策や中央銀行による大規模な金融緩和政策に加え、経済活動再開の動きもあり、円安オーストラリアドル高基調で推移したこと

#### (下落要因)

- ・2020年3月には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から、円高オーストラリアドル安が急速に進んだこと

## 2 運用経過

### 運用概況

運用方針に基づき、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Baa3以上(およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む)の格付けを付与された公社債に投資しました。マクロ経済・債券市況・需給動向等の分析を踏まえ、金利動向およびクレジット市場の方向性を予測、ポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、運用戦略を決定・実行しました。

なお、償還を控え、2021年6月中旬に組入銘柄をすべて売却しました。

## ◎1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項目の概要
	(2021年6月8日～2021年7月6日)		
	金額	比率	
(a)その他費用	1 円	0.013 %	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は11,623円です。
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	1	0.013	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況（2021年6月8日～2021年7月6日）

## ○公社債

			買 付 額	売 付 額
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
外 国	オーストラリア	国債証券	—	2,622
		特殊債券	—	11,179

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等（2021年6月8日～2021年7月6日）

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

2021年7月6日現在、有価証券等の組み入れはございません。



## ◎投資信託財産の構成

2021年7月6日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,215,883	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,215,883	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び償還価額の状況

2021年7月6日現在

項 目	償 還 時
(A)資 産	1,215,883,221円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,215,883,221
(B)負 債	71,263
そ の 他 未 払 費 用	71,263
(C)純 資 産 総 額 ( A - B )	1,215,811,958
元 本	1,046,053,219
償 還 差 益 金	169,758,739
(D)受 益 権 総 口 数	1,046,053,219口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 ( C / D )	11,622円85銭

## ◎損益の状況

 自 2021年 6 月 8 日  
 至 2021年 7 月 6 日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	768,949円
受 取 利 息	768,949
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	7,629,672
売 買 益	8,607,415
売 買 損	△ 977,743
(C)信 託 報 酬 等	△ 153,303
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	8,245,318
(E)前 期 繰 越 損 益 金	162,002,409
(F)解 約 差 損 益 金	△ 488,988
償 還 差 益 金 ( D + E + F )	169,758,739

(注1)当親ファンドの期首元本額は1,049,064,231円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は3,011,012円です。

(注2)当親ファンドの当期末元本の内訳は、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)370,437,561円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(毎月決算型)338,355,578円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジあり)337,260,080円です。

(注3)1口当たり純資産額は1.162285円です。

(注4)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6)損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。